

令和 3 年度藍住町計画に関する 事後評価

**令和 4 年 4 月
徳島県
藍住町**

1. 事後評価のプロセス

(1) 「事後評価の方法」の実行の有無

事後評価の実施にあたって、市町村計画に記載した「事後評価の方法」に記載した事項について、記載どおりの手続きを行ったかどうかを記載。

行った

(実施状況)

- ・令和3年10月4日、10月19日

藍住町指定地域密着型サービス事業者選定委員会から事業実施に関する意見聴取。

- ・令和3年10月25日

藍住町地域密着型サービス運営委員会から事業実施に関する意見聴取。

行わなかった

(行わなかった場合、その理由)

(2) 審議会等で指摘された主な内容

事後評価の方法に記載した審議会等の意見を聞いた際に指摘された主な内容を記載するとともに、内容の末尾に審議会等名とその開催日時を記載すること。なお、主な内容については、審議会等の議事概要の添付も可とする。

審議会等で指摘された主な内容

- ・なし

2. 目標の達成状況

令和3度藍住町計画に規定する目標を再掲し、令和3年度終了時における目標の達成状況について記載。

■藍住町（目標）

地域密着型サービスの整備等により、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、以下を目標に取り組みます。

① 介護施設等の整備に関する目標

地域包括ケアシステムの構築に向けて、「藍住町第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行います。

(整備目標)

- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 0カ所 → 1カ所（定員29）

✓藍住町（達成状況）

1) 目標の達成状況

- ・ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備に向け、事業者を公募により募集し藍住町指定地域密着型サービス事業者選定委員会での審査を経て選定。
- ・ 事業整備について、地域密着型サービス運営委員会から意見聴取を行いました。

2) 見解

- ・ 地域包括ケアシステムの構築に資する、新たな地域密着型サービス事業者を選定したことにより、医療ケア、看取り、レスパイトケア等の総合的な推進が見込まれます。なお、令和3年度から令和4年度にかけての継続事業として進めており、令和4年度中の完成を予定しています。

3) 改善の方向性

- ・ 町が想定する事業効果が得られるよう、引き続き地域密着型サービス運営委員会等から意見聴取を行うこととしています。

4) 目標の継続状況

- 令和4年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和4年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

3. 事業の実施状況

令和3年度藍住町計画に規定した事業について、令和3年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業					
事業名	【No. 1 (介護分)】 藍住町介護施設等整備事業	【総事業費 (計画期間の総額)】 45,395 千円				
事業の対象となる区域	藍住町					
事業の実施主体	藍住町					
事業の期間	令和3年4月1日～令和5年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了					
背景にある医療・介護ニーズ	高齢者が地域において、安心して生活できる体制の構築を図ります。 アウトカム指標：地域密着型サービス施設等の事業所数 13 カ所（令和3.4.1 時点）					
事業の内容（当初計画）	①地域密着型サービス施設等の整備に対する助成を行います。 ②介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対する支援を行います。 <table border="1"><tr><td>整備予定施設等</td></tr><tr><td>看護小規模多機能型居宅介護 1カ所</td></tr><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr></table>		整備予定施設等	看護小規模多機能型居宅介護 1カ所		
整備予定施設等						
看護小規模多機能型居宅介護 1カ所						
アウトプット指標 (当初の目標値)	・地域包括ケアシステムの構築に向けて、第8期介護保険事業計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行います。 ・看護小規模多機能型居宅介護 0カ所→1カ所（定員29）					
アウトプット指標 (達成値)	看護小規模多機能型居宅介護 0カ所→1カ所（定員29） (整備中)					
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：看護小規模多機能型居宅介護における年間延べ登録者数 210人（令和3年度は整備中のため観察できていない） <table border="1"><tr><td>観察できなかった</td></tr><tr><td>観察できた</td></tr></table>		観察できなかった	観察できた		
観察できなかった						
観察できた						

	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>複合型サービスの特性を活かした一体的で柔軟なサービス提供が可能となり、在宅介護における医療ケア、看取り、レスパイトケア（介護者の休息）等の総合的な支援につながります。また、本人や介護者の実情に応じた対応が行えることから、介護離職ゼロサービスとしての活用にも期待できます。これらの効果が複層的に発揮されることにより、在宅における介護限界点の底上げが図られ、アウトカム指標で示すとおり、高齢者が地域において安心して生活できる環境が整うと考えています。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>施設整備に伴う書類の整備、入札等について、行政の手法を助言することで公正で透明性の高い事業が行えているほか、町と事業者とが施設整備に対する共通認識を持って進めていることにより、事業の効率化が図られています。</p>
その他	